

1

都心部

天神、博多駅、博多部、渡辺通地区

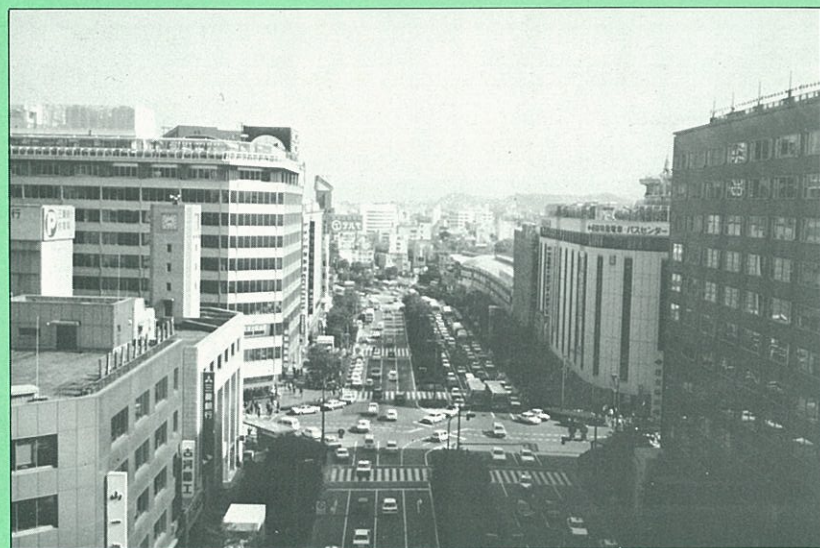


一般特性

[形成過程]

福岡市の中心市街地の核を形成する地区で、天神地区（城下町福岡）、博多駅地区、博多部地区（商人町博多）及び渡辺通地区によって構成される。

- ・天神地区
江戸時代の城下町建設によってつくられたまちであり、戦後の戦災復興によって計画的街区が形成され、博多部地区に代わって福岡の商業・業務の中心として発展している地区。
- ・博多駅地区
昭和30年代の博多駅移転に伴い施行された大規模な区画整理事業によって新たに整備された地区であり、新幹線の開通によってターミナル性を強め、業務・サービスの中心地区。
- ・博多部地区
中世の太閤まち割り以来の伝統あるまちとして知られ、福岡のまちの原型といわれる地区。
- ・渡辺通地区
明治以降、路面電車や渡辺通りの開通により発展した親しみのある商業地区であり、近年は、道路拡幅や再開発等により新たな都心の一角として整備が進んでいる地区。



景観特性

■自然系

[緑]

古い寺社境内に自然の樹林が存在し、貴重な都心のいこいの場となっている。

[水]

一度は環境悪化が著しかった那珂川ではあるが、水質が改善され魚影なども見られるようになり、都心の貴重な水辺となって、うるおいを提供している。しかし、水への近接性に乏しく、親水性の向上が望まれる。

■歴史系

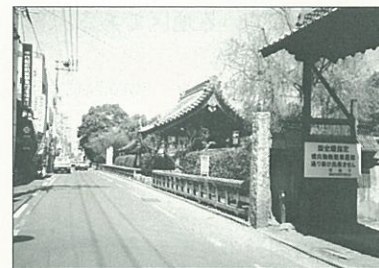
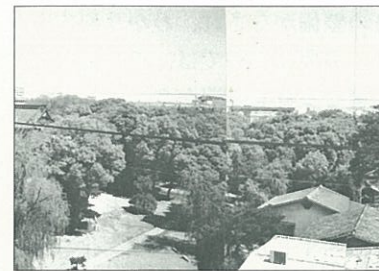
本地区では博多部・福岡部からなる複合都市の伝統が感じられ、博多部では古い寺社、太閤まち割り、史跡が残っているのをはじめ旧町名を示した碑などが建てられるなど、まちの各所に歴史的事物が様々な形で名残りをとどめている。特に御供所町界隈は、聖福寺を中心に福岡でも数少ないまとまった形で伝統あるまち並みを残すところである。また、天神周辺でも旧武家屋敷の大木、旧いまち割りに城下町の面影が残っている。

■都市系

[まち並み]

全般的に、主要な商業、業務、公共施設が高度に集積しており様々な目的をもった人々が集る賑わいのある地区である。その中でも、近年福岡の都心として目ざましい発展をとげている天神地区には、戦災復興により生まれた計画的街区と道路を基盤にして大規模な各種の施設が集中し、福岡都市圏のみならず、九州の中心的地区として、多様な活動、情報をもった活気あふれるまちとなっている。

また、博多駅地区は、博多駅の移転（昭和35年）に伴う区画整理事業によって新たに整備され、博多駅を中心に九州の陸の玄関口として、業務、サービス施設の集中的立地が現在も進み、来街者に向けての新しい顔が出来上りつつある。



景観特性

[道路]

天神、博多駅を中心に郊外への幹線道路の整備がなされ、わかりやすい骨格としての道路網が出来上りつつある。主要な道路では、モール化や街路樹の植栽が進められ、歩きやすく快適な歩行者空間が多くの人々に親しまれている。しかし、一步地区内道路に入ると、歩道の未整備部分も多く、特に密集市街地内の細街路は防災上、景観上も多くの問題をかかえている。博多地区の幹線道路には〈山笠〉や〈どんたく〉というまちをあげての祭の際利用される由緒あるみちすじがあり、地域文化を演出する道路でもある。

[動向]

・天神地区

天神を中心に駅や公共施設跡地に関する再開発計画が検討されており、新しい都心づくりに官民協力の体制で積極的な対応が図られている。天神には、新しい都市的魅力と文化性を備えた施設の進出が相つぐことになり、今後の大規模な都市改造につながる可能性がある。

・博多駅地区

大きな面積の空閑地をもつ博多駅周辺は、大手企業等により業務、サービス施設の進出が顕著で、市内で最も変貌をとげている地区である。

・博多部地区

既成市街地の中で、先祖代々生活を営んできた人々が多く、個別の小さな建物の更新などが行われ、一方、新たな核づくり、まちづくりの動きもみられる。

・渡辺通地区

相次ぐホテルの進出や、鉄道高架に伴う周辺再開発の兆しがみられる。

■その他

繁華街、主要道路沿線では、建物に付帯し、また路上にある広告・看板が氾濫して都市の美観を損ねているものがある。

大規模な建物について、総合設計制度による緑を配した公開空地が設けられた例もあり、待ち合せ、休息等に利用され、都心の空間にアクセントをつけている。

路上駐輪が目立ち、歩行者通行を妨げるばかりでなく、通りの景観を阻害している。

人が集中する地区だが、系統だった案内板、サインが少なく適切な情報に乏しい。

課題と基本方針

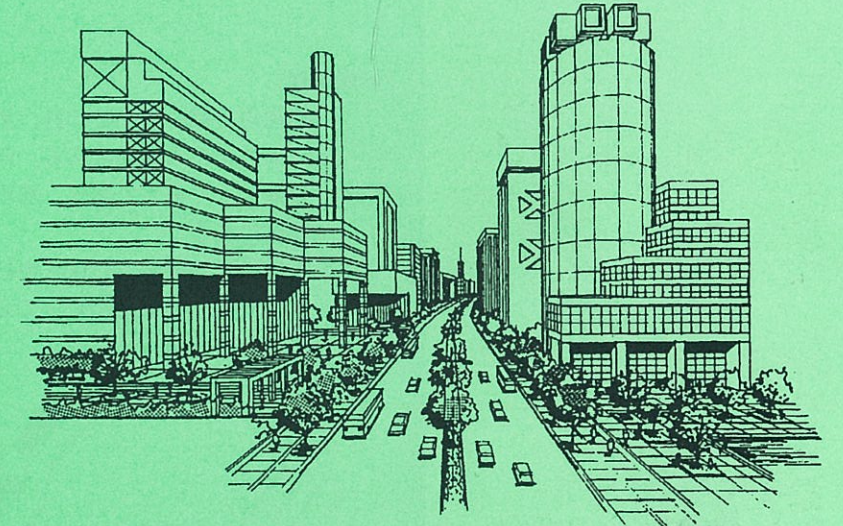
■課題

- ・ネットワークの整備や歩行者空間の確保などによる歩行ルートの改善。
- ・都市内の公園、オープンスペースの積極的な活用。
- ・まち中で不足している休息の場の創造。
- ・歴史的建造物、環境の保全・活用。
- ・広告・看板のまち並みとの調和。

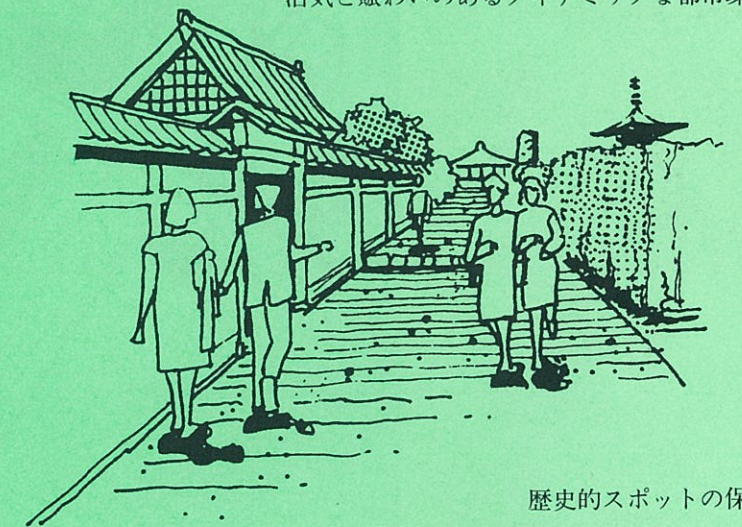
■基本方針

- ・自由でのびのびとした都市の文化、情報を享受し、創造することのできる活気と賑わいのあるダイナミックな都市環境の創造。
- ・誰にでもわかりやすく、親しまれる広場、歩行者空間をもったゆとりあるまち並みの形成。
- ・歴史性と地域文化をまちづくりに取り入れた歴史文化環境の整備。

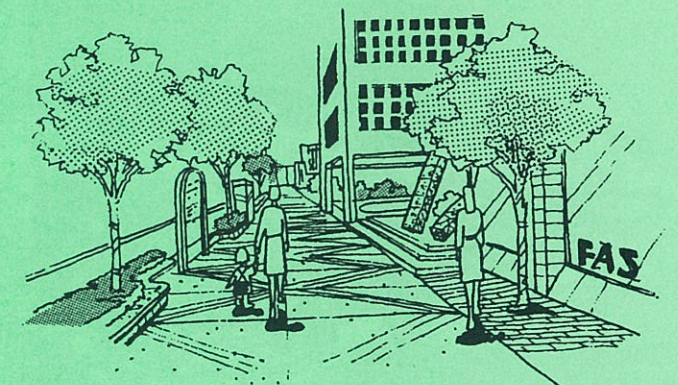
整備イメージ



活気と賑わいのあるダイナミックな都市環境



歴史的スポットの保全



安全性をもった楽しく歩ける街路空間

2

副都心

西新・藤崎、香椎、大橋地区

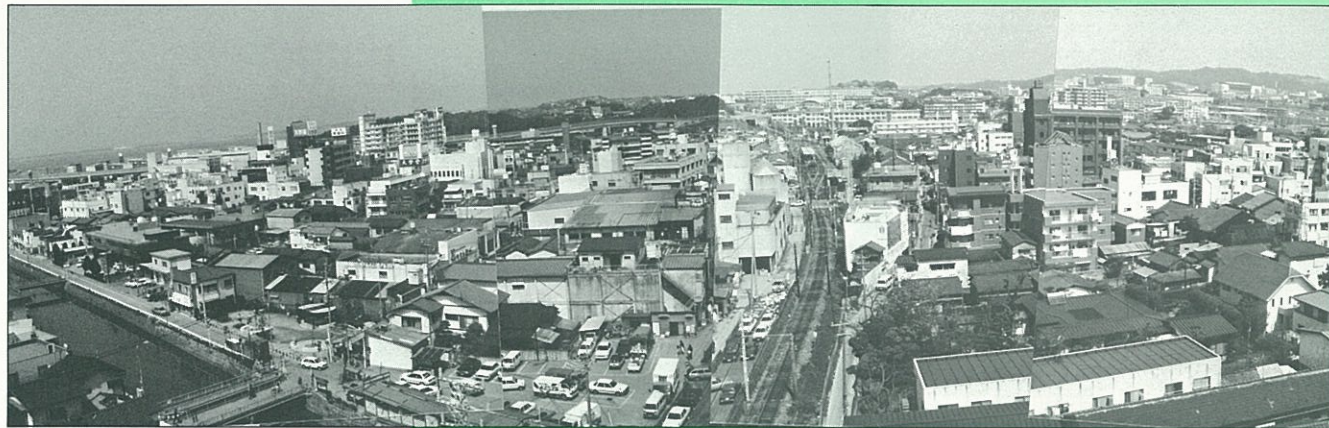
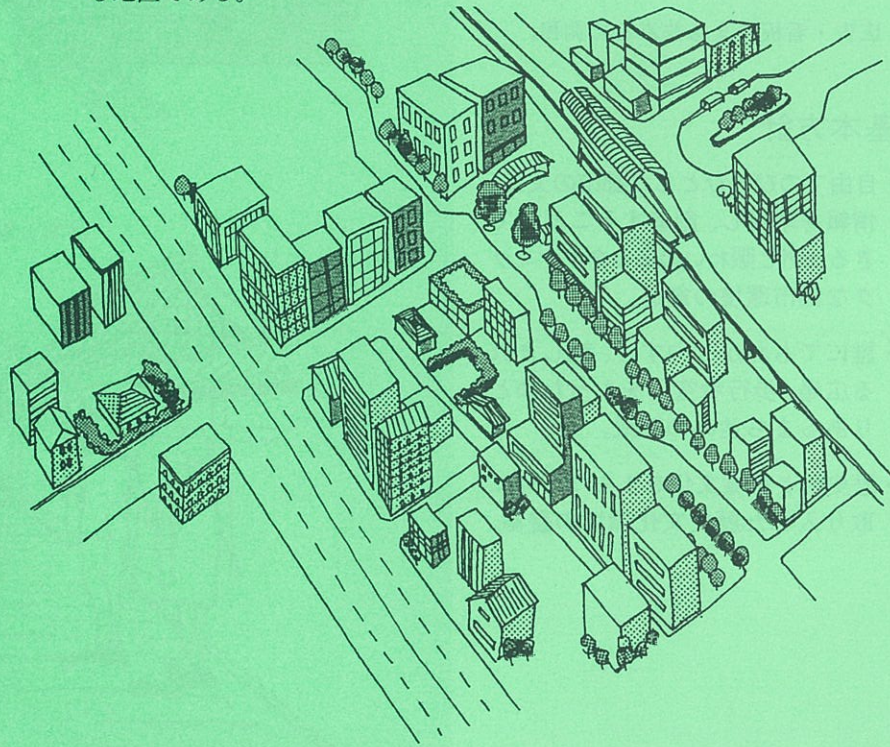


一般特性

[形成過程]

福岡市の都心を中心に西、東、南の地域拠点として、商業集積をみながら形成された市街地である。西の西新・藤崎、東の香椎は、古くから地域の要衝として栄えており、都市化の中で新たな商業的な核となって発展した地区である。

大橋地区は南部への住宅地拡大の中で、副都心にふさわしい都市基盤づくりが区画整理事業によって完了し、新たな都市機能が現在集積されつつある地区である。



景観特性

■自然系

[緑]

まとまった自然の緑は見当たらない。駅周辺の中心道路には、四季を感じさせる街路樹をもったモールが整備され、まち中にゆとりを感じさせる貴重な要素となっている。

[水]

コンクリートで囲まれ、水路化した中小河川があるのみで、水辺に親しめる空間に乏しい。

■歴史系

西新・藤崎地区では旧街道沿いに、由緒ある神社や伝統をもった商店が点々と残り、一昔前のまち並みを感じさせている。しかし、新しいマンション、店舗の進出の中で、年々その存在感は薄れてきている。

香椎地区は、香椎宮という福岡で最も古い歴史をもつ神社に接するため、伝説、いわれが残る。

■都市系

[まち並み]

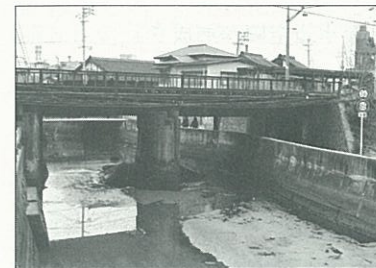
広域性をもつ交通機能と商業機能を中心にして、各種業務・サービス施設が集中する地区であり、生活拠点として、活気をもった地区の顔をつくっている。

西新・藤崎、香椎地区では、古くからの市場的雰囲気を持ち、生活に密着した地域型商店街が独特のまち並みをつくりだしている。

[道路]

地区内の幹線道路は、市内の重要な都市軸として整備され、地域の顔となっている。また、生活拠点らしい市民生活に密着した買物道路的な通りが、活気を感じさせる重要な役割をもっている。

特に、大橋駅周辺には、区画整理事業で生み出された歩行者優先の歩車共存の道路が整備され、広場性をもった道路空間が親しみのある駅前ゾーンをつくりだしている。



景観特性

[動向]

西新・藤崎地区は最近の再開発により、従来の密集市街地の整備がなされ、大型店舗を核にした商業、業務地区として発展している。また、臨海部のシーサイドももちの整備により更なる発展が期待される。

香椎地区は商業・業務施設が集積しており、店舗、住宅の単体による建物更新が頻繁にみられ、沿道土地利用は高層化の傾向にある。また、香椎浜や香椎パークポート等の臨海部や香椎操車場跡地の整備により、東部の拠点として飛躍する可能性がある。

大橋地区では、区画整理事業により生まれた秩序ある街区の中にまだ空閑地が残り、今後の新しいまちづくりにつながる有効な活用が期待される。また、那珂川河畔の整備により、快適な水辺空間が形成されつつある。



■その他

西新駅周辺では路上駐輪が問題となっている。

駅周辺は、地区を印象づける重要な場所であるにもかかわらず、広告・看板が氾濫して、都市の美観を損ねているものがある。

課題と基本方針

■課題

- ・まちの結節点にふさわしい、人の集まる、ゆとりとるおいの場の創造。
- ・歩行者空間の整備による、安全に楽しく歩けるまちづくり。
- ・道と建物が調和した沿道景観づくり。
- ・幹線道路沿線の広告・看板の規制・誘導。

■基本方針

- ・楽しさと賑わいのある生活拠点にふさわしい景観の創造。
- ・人と人のふれあいが生まれる地域交流の場の育成。
- ・個性ある通りを軸にしたまちづくりの推進

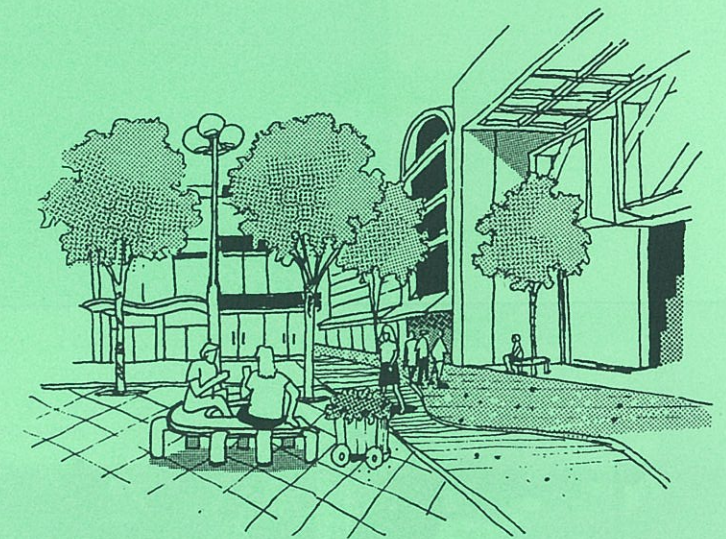
整備イメージ



楽しさと賑わいのある駅前生活拠点ゾーン



地域交流の場となる広場、街路



個性ある通りの商業空間